

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

東

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所
 コード番号 2369 URL http://www.medibic.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多見 浩次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 疋田 賢司 (TEL) 03-5439-9691
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	103	△25.6	△354	—	△357	—	△393	—
25年12月期第3四半期	138	△2.3	△183	—	△197	—	△202	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △383百万円(—%) 25年12月期第3四半期 △186百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△13.63	—
25年12月期第3四半期	△7.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	912	868	95.2
25年12月期	1,002	949	94.7

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 868百万円 25年12月期 948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	342	48.7	△283	—	△282	—	△317	—	△10.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	29,059,820株	25年12月期	28,209,820株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	一株	25年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	28,826,304株	25年12月期3Q	26,124,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、各種政策効果の発現を背景として景気は緩やかな回復基調をみせながらも、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要に対する反動から、4月以降個人消費の厳しさが継続し不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境としましては、政府が推進する医療分野の成長戦略の取り組みのもと、iPS細胞などによる「再生医療」の早期実現、ゲノムコホート研究、バイオバンク基盤整備、「個別化（テーラーメイド）医療」などの取り組みが活発化しました。

このような状況のもと当社グループは、検体保管事業による匿名化システムの開発案件や遺伝子解析に関する受託事業、さらには患者様ダイレクトに遺伝子検査事業を展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績、セグメントの業績は、次のとおりであります。

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	103,383	△35,567
営業損失	354,204	171,185
経常損失	357,809	160,413
四半期純損失	393,003	190,421

① 遺伝子事業

遺伝子事業につきましては、『おくすり体質検査』『CYP2D6遺伝子検査』などの販売を直販、クリニック、調剤薬局などを通じて行ってまいりました。

「CYP2D6遺伝子検査」では、「乳がん患者」のみをターゲットとした初めての直販サービスに取り組んでおります。今後はこれらの直販サービス拡大のため、「Cheer Woman」という乳がん患者のみに特化したSNS（ソーシャルネットワークサービス）を通じて、より広く遺伝子検査の市場浸透に取り組む方針であります。

おくすり体質検査は、主に調剤薬局からの引き合いで販売をしていますが、今後も薬による副作用発症リスク判定を遺伝子レベルで手軽に行うことができる検査として、販売の拡充を進めております。

さらに、「AGA（男性型脱毛症）」や「認知症」に関する遺伝子検査については、遺伝子検査を活用した商材販売やネットユーザー囲い込みの観点から、商社やIT企業等からの問い合わせが増えており、販路構築を進めてまいりました。

この結果、遺伝子事業の売上高は48,260千円（報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比31.4%減）となったため営業費用をカバーしきれず、セグメント損失（営業損失）は48,438千円（報告セグメント変更後に基づく前年同四半期はセグメント損失25,260千円）となりました。

② 治験支援事業

治験支援事業につきましては、治験コーディネイト業務のターゲットとして婦人科系、消化器系、整形外科系に注力して営業展開を行い、活動してまいりました。

この結果、治験支援事業の売上高は34,757千円（報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比6.6%減）、セグメント利益（営業利益）は704千円（報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比90.8%減）となりました。

③ 再生医療事業

再生医療事業におきましては、前年度に引き続き「脊髄損傷」および「重症肝疾患」犬への脂肪由来間葉系幹細胞の投与治験を全国450の動物病院にて進めております。また、これまで治験において蓄積した幹細胞の分離・培養技術を、自動化する装置の開発に着手しており、試作機の運用を開始しております。さらに、細胞加工技術や難治性疾患領域において大学との共同研究を進めており、今後の成長分野に積極的に投資を行っております。

この結果、再生医療事業の売上高は6,000千円（前連結会計年度の第3四半期より連結を開始しているため、前年同四半期の売上高は計上しておりません。）、セグメント損失（営業損失）は107,920千円（前連結会計年度の第3四半期より連結を開始しているため、前年同四半期のセグメント損益は計上しておりません。）となりました。

④ その他

その他事業につきましては、米国Eleison Pharmaceuticals, LLC.（Eleison社）が開発している抗がん剤Glufosfamide（グルフォスファミド）の支援に取り組んでおります。

Eleison社は、第Ⅲ相臨床試験申請が遅延してまいりましたが、平成25年10月7日付すい臓がん患者に対するグル

フオスファミドの安全性と有効性を評価するための第Ⅲ相試験を米国内にて開始したことを発表しました。主要エンドポイントは、全生存期間です。Eleison社は、この第Ⅲ相試験のためのSPA (Special Protocol Assessment) を米国食品医薬品局 (FDA) と協定を締結しており、試験完了後の平成27年にNDA (新薬承認申請) をFDAに申請する計画です。

こうした状況下で当社グループは、Eleison社との共同開発支援パートナーとして、米国およびグローバルでの臨床試験の経過を注視しつつ、アジア地域におけるライセンス販売活動を積極的に進めているところであります。

この結果、その他事業における売上高は14,365千円 (報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比54.3%減)、セグメント損失 (営業損失) は33,269千円 (報告セグメント変更後に基づく前年同四半期はセグメント損失31,721千円) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は912,393千円となり、前連結会計年度末に比べ89,943千円減少いたしました。主な要因としては、現金及び預金の減少85,495千円、投資有価証券の増加117,744千円、営業投資有価証券の減少94,277千円によるものであります。

負債は43,707千円であり、前連結会計年度末に比べ9,516千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少5,121千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ80,427千円減少し、868,686千円となりました。これは四半期純損失393,003千円を計上したものの、第三者割当増資による新株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ151,300千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月13日付「平成25年12月期決算短信」において公表いたしました平成26年12月期の連結業績予想につきましては、本日 (平成26年11月12日) 公表いたしました「特別損失の計上及び平成26年12月期 通期の業績予想の修正に関するお知らせ」の通り修正しておりますのでご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、営業損失、経常損失、当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第3四半期連結累計期間におきましても営業損失354,204千円、経常損失357,809千円、四半期純損失393,003千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、継続企業の前提に疑義を生じさせるような事象を解消するため、「事業収益の拡大」及び「資産のキャッシュ化」を経営の柱とするとともに、資金調達の検討を行い、安定した財務基盤の確立に努めてまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,895	273,399
受取手形及び売掛金	35,075	38,492
営業投資有価証券	94,277	-
投資損失引当金	△13,635	-
商品及び製品	198	16,790
仕掛品	20,350	10,435
貯蔵品	1,111	6
その他	24,063	25,795
貸倒引当金	△11,340	△22,680
流動資産合計	508,997	342,241
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	72,311	88,781
その他(純額)	19,874	25,633
建設仮勘定	-	10,800
有形固定資産合計	92,185	125,215
無形固定資産		
のれん	324,586	273,336
その他	45,423	40,771
無形固定資産合計	370,009	314,108
投資その他の資産		
投資有価証券	0	117,744
その他	35,954	17,895
貸倒引当金	△4,810	△4,810
投資その他の資産合計	31,144	130,829
固定資産合計	493,340	570,152
資産合計	1,002,337	912,393
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,102	8,917
未払法人税等	10,108	4,987
1年内返済予定の長期借入金	2,084	2,106
その他	30,788	22,445
流動負債合計	47,084	38,456
固定負債		
長期借入金	6,139	4,557
繰延税金負債	-	694
固定負債合計	6,139	5,251
負債合計	53,223	43,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775,655	2,926,955
資本剰余金	3,308,852	3,460,152
利益剰余金	△5,126,902	△5,519,905
株主資本合計	957,606	867,202
その他の包括利益累計額		

その他有価証券評価差額金	△8,761	1,254
その他の包括利益累計額合計	△8,761	1,254
新株予約権	229	229
少数株主持分	39	-
純資産合計	949,113	868,686
負債純資産合計	1,002,337	912,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	138,951	103,383
売上原価	96,484	85,608
売上総利益	42,466	17,775
販売費及び一般管理費	225,486	371,980
営業損失(△)	△183,019	△354,204
営業外収益		
受取利息	34	1,608
助成金収入	—	1,458
その他	806	777
営業外収益合計	841	3,843
営業外費用		
支払利息	—	99
支払手数料	11,592	4,300
投資事業組合等損失	—	1,700
その他	3,625	1,347
営業外費用合計	15,217	7,448
経常損失(△)	△197,395	△357,809
特別利益		
関係会社株式売却益	—	977,336
新株予約権戻入益	6,540	—
特別利益合計	6,540	977,336
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	977,335
減損損失	—	13,071
固定資産廃棄損	—	433
固定資産売却損	—	9,696
投資有価証券評価損	—	8,044
特別調査費用	10,000	—
その他	—	1,900
特別損失合計	10,000	1,010,480
税金等調整前四半期純損失(△)	△200,855	△390,953
法人税、住民税及び事業税	1,728	2,063
法人税等合計	1,728	2,063
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△202,584	△393,016
少数株主損失(△)	△2	△13
四半期純損失(△)	△202,582	△393,003

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△202,584	△393,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,224	10,015
その他の包括利益合計	16,224	10,015
四半期包括利益	△186,360	△383,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△186,357	△382,987
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月17日付で、ロート製薬株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が151,300千円、資本準備金が151,300千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,926,955千円、資本剰余金が3,460,152千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遺伝子事業	治験支援 事業	再生医療 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	70,300	37,214	—	31,435	138,951	—	138,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	70,300	37,214	—	31,435	138,951	—	138,951
セグメント利益又は損失(△)	△25,260	7,625	—	△31,721	△49,357	△133,662	△183,019

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△133,662千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遺伝子事業	治験支援 事業	再生医療 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,260	34,757	6,000	14,365	103,383	—	103,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	48,260	34,757	6,000	14,365	103,383	—	103,383
セグメント利益又は損失(△)	△48,438	704	△107,920	△33,269	△188,923	△165,281	△354,204

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△165,281千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13,071千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度から第1四半期連結会計期間にかけての連結子会社の増減に伴い、事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「バイオマーカー創薬支援事業」「テーラーメイド健康管理支援事業」「創薬事業」「投資・投資育成事業」から、「遺伝子事業」「治験支援事業」「再生医療事業」「その他事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。